

2014年11月12日

株式会社電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 コード番号: 4324)

問合せ先責任者 広報部長 河南 周作

TEL: 03-6216-8041

**平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異、
 および、平成27年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ**

平成26年8月12日に公表した平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に、下記のとおり差異が生じました。これを踏まえ、平成27年3月期通期業績予想についても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期第2四半期累計期間実績値と予想数値との差異

(1) 連結(日本基準)

	売上高	売上総利益	のれん等 償却前 営業利益	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,130,900	290,300	40,700	19,000	21,600	4,600	15.95
実績値(B)	1,136,878	295,674	39,225	14,606	20,952	2,822	9.79
差異(B-A)	5,978	5,374	△1,475	△4,394	△648	△1,778	
増減率(%)	0.5	1.9	△3.6	△23.1	△3.0	△38.6	
(ご参考)前期 第2四半期実績 (平成26年3月期 第2四半期)	1,082,360	269,193	40,111	19,284	24,049	10,134	38.61

(2) 個別（日本基準）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	755,500	21,900	37,000	25,200	87.39
実績値(B)	734,808	23,226	43,332	33,375	115.74
差異 (B-A)	△20,691	1,326	6,332	8,175	
増減率 (%)	△2.7	6.1	17.1	32.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	717,583	18,390	29,727	23,137	88.14

2. 平成27年3月期通期業績予想の修正

(1) 連結業績予想（日本基準）

	売上高	売上総利益	のれん等 償却前 営業利益	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,371,200	623,000	115,500	72,500	77,900	31,100	107.85
今回修正予想(B)	2,432,100	651,700	118,300	69,300	76,700	29,400	101.95
増減額 (B-A)	60,900	28,700	2,800	△3,200	△1,200	△1,700	
増減率 (%)	2.6	4.6	2.4	△4.4	△1.5	△5.5	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	2,309,359	594,072	114,186	71,490	82,538	38,800	140.89

(2) 個別業績予想（日本基準）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,567,200	51,900	69,100	43,000	149.12
今回修正予想(B)	1,544,700	54,300	74,800	48,300	167.50
増減額 (B-A)	△22,500	2,400	5,700	5,300	
増減率 (%)	△1.4	4.6	8.2	12.3	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	1,515,062	50,579	69,667	46,953	170.49

3. 理由

第2四半期累計期間の連結業績（日本基準）につきましては、売上高、売上総利益が予想を上回ったものの、買収した企業の業績好調により、将来支払うべきアーンアウト（注）の評価額が予想に比べ約48億円増加しました。また、円安により円ベースののれん等償却額が増加しました。これらの結果、会計上、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、のれん等償却前営業利益、営業利益、経常利益、四半期純利益が予想を下回り、上記差異となりました。

第2四半期累計期間の個別（単体）業績（日本基準）につきましては、売上高は予想を下回ったものの、売上総利益率が改善したことや、受取配当金等の営業外収益が増加したことなどから、営業利益、経常利益、四半期純利益が予想を上回り、上記差異となりました。

通期の業績予想（日本基準）につきましては、第2四半期累計期間における差異に加え、最近の広告市場の動向や為替レートの変動による影響等を考慮し、上記のとおり修正いたしました。

(注) アーンアウトとは、企業買収時に買収対価を一括で支払わず、一定の条件を付けた分割払いとした場合の買収後における支払義務をいいます。一般的には、買収を行う際に売り手との間に、買収後一定期間内の業績について条件を設定し、当該期間の実際の業績に応じアーンアウトの金額を変動させます。アーンアウトについては、買収時点での業績見通しに基づく評価額を計上していますが、買収後の業績が買収時点での見通しを上回った（下回った）場合には、その評価額が増加（減少）することになり、その増加（減少）額をその都度費用（収益）として認識することになります。

以 上

(注)この資料に記載しております売上高および利益の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断および仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。